

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	27
2. 大学等名	東京理科大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	理学部第一部、理学部第二部、薬学部、工学部、工学部第二部、理工学部、基礎工学部、経営学部 ※平成28年度より工学部第二部全学科の学生募集を停止し、在学する学生がいなくなった時点で廃止予定
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（400文字）
<p>本事業では、①『LETUS』（本学において現在運用・開発しているVLE（Virtual Learning Environment））内に新たに構築する「学修ポートフォリオシステム」（学修ポートフォリオ及びTUSルーブリック）の導入による学修成果の可視化、②『LETUS』と連携した「授業収録配信システム」の整備によるアクティブ・ラーニングの促進、の2つの連携により、「学生自身による学修のPDCAサイクル」を確立することを目指す。学生は①により、自らの学修した内容や成果の確認、振り返りを行うことができ、（Checkの確立）、それをもとにして、②により、その後の学修においてさらに主体的に学び、授業展開の中心的な存在となる姿勢を醸成することができる（Actionの確立）。また、柔軟なルーブリックの作成を実現すること等により、学科カリキュラムの体系化を促進すること等の教育改善にも寄与するとともに、ワークショップを開催し、本事業の成果の学内外への発信を行う。</p>	